

# エナジーセーブ



コンサルタント  
米田 桜子氏

は実質0円という優れも  
間て約  
1.6  
倍に上  
昇して  
います。  
また  
工場  
のケー  
スは、電  
金は電  
金の値  
上げ問  
題だ。

大震災に端を発した原  
子力発電所の稼働停止が  
続く現在、ピーク時の電  
力不足を回避するための  
省エネ・節電対策は重要  
だが、より逼迫した課題  
となっているのが電気料  
金

「コスト削減が確実な  
省エネ事業が見直されつ  
つあります」とは、省エ  
ネコンサルティング会社  
のエナジーセーブ(東京  
都港区)の米田桜子氏。  
同社が展開するBEMS  
は初期導入コスト不要  
で、取り付け時から使用  
者努力なしで電気料金を  
削減。さらに、サービス  
費は削減額の範囲内のた  
め、クライアントの負担  
が、今年7月では17.95  
円/kWhとなり、2年  
現在の状況を鑑みると

「平成22年度以降の東  
京電力の実質従量金単価  
が年間  
約3  
000  
円増  
えると  
試算  
があり、  
収益を圧迫して  
います」(米田氏)

「燃料調整費、太陽光付  
加金などを加味したもの  
で、基本料金は別)の推  
定で、東日本大震災  
の試算  
があり、  
収益を圧迫して  
います」(米田氏)

「平成22年度以降の東  
京電力の実質従量金単価  
が年間  
約3  
000  
円増  
えると  
試算  
があり、  
収益を圧迫して  
います」(米田氏)

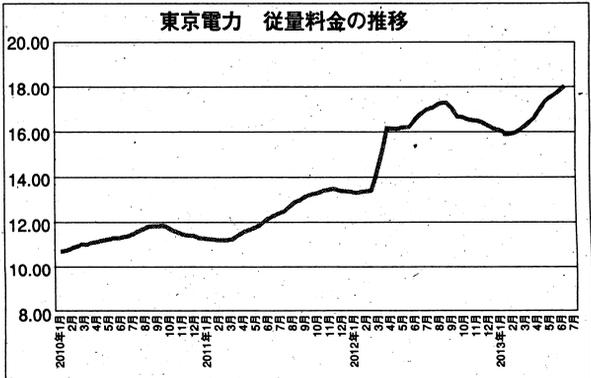
「平成22年度以降の東  
京電力の実質従量金単価  
が年間  
約3  
000  
円増  
えると  
試算  
があり、  
収益を圧迫して  
います」(米田氏)

「平成22年度以降の東  
京電力の実質従量金単価  
が年間  
約3  
000  
円増  
えると  
試算  
があり、  
収益を圧迫して  
います」(米田氏)

「平成22年度以降の東  
京電力の実質従量金単価  
が年間  
約3  
000  
円増  
えると  
試算  
があり、  
収益を圧迫して  
います」(米田氏)

「平成22年度以降の東  
京電力の実質従量金単価  
が年間  
約3  
000  
円増  
えると  
試算  
があり、  
収益を圧迫して  
います」(米田氏)

「平成22年度以降の東  
京電力の実質従量金単価  
が年間  
約3  
000  
円増  
えると  
試算  
があり、  
収益を圧迫して  
います」(米田氏)



出典：東京電力発表内容をもとにエナジーセーブ社作成

(ビルエネルギー管理シ  
ステム)アクリゲータ事  
業だが、初期導入コスト  
は100万円〜500万  
円、中には2000万円  
の機器もあり、これに加  
え、毎月のサービス料が  
負担になる。

「多大な初期導入コス  
トが必要でありながら、  
BEMSにはコスト削減  
の保証がなく、投資コス  
トの回収リスクがありま  
す。特に円安の影響で今  
後もエネルギー輸入コス  
ト高騰による電気料金の  
値上げが続く可能性があ  
り、コスト削減がより重  
視されるようになってき  
ました。高いコスト削減  
が見込まれる当社によ  
うなスキームが見直され  
ている理由だといえます」  
(米田氏)

## エネルギーコスト高騰で電気料金値上げ確実 確実にコスト削減できる省エネ対策に注目集まる

「平成22年度以降の東  
京電力の実質従量金単価  
が年間  
約3  
000  
円増  
えると  
試算  
があり、  
収益を圧迫して  
います」(米田氏)